

## 診療/研修カリキュラム表

脈管専門医達成目標		
達成目標	検査法・基礎知識	治療法、病態・疾患各論
I	独立して施行または判定できる・基礎知識を有する	主治医として経験する
II	指導者の下で施行または判定できる	指導者の下で経験する
III	施行できない場合、見学する	経験がない場合、見学する
IV	経験しなくても十分な知識を有する	経験しなくても十分な知識を有する

脈管総論		達成目標
A. 脈管総論		
脈管局所解剖	脈管発生	I
	頭頸部脈管解剖	I
	上肢脈管解剖	I
	胸部脈管解剖	I
	腹部脈管解剖	I
	下肢脈管解剖	I
脈管病態	血流力学	I
	止血・血栓	I
	動脈硬化	I
	血管炎	I
	感染	I
	内膜肥厚	I

脈管専門医達成目標		達成目標
B-1. 検査法		
身体所見	脈拍触診など	I
血管機能検査	ABI/PWV	I
	PVR	I
	トレッドミル	I
	NIRS(トレッドミル)	IV
	SPP	IV
	TcPO2	IV
	下肢容積脈波検査	IV
	サーモグラフィー	IV
	血管内皮機能検査	IV
超音波検査	頸動脈エコー	I
	腹部血管エコー	I
	下肢動脈エコー	I
	下肢静脈エコー	I
	経食道エコー	III
血管造影	大動脈造影	II
	下肢動脈造影	II
	下肢静脈造影	IV
	MRアンギオ	I
	CTアンギオ	I
特殊検査	血管内視鏡	IV
	血管内エコー	IV
B-2. 治療法		
一般的治療	フットケア	I
	生活習慣(禁煙・食事・運動など)指導	I
	深部静脈血栓症ストッキング圧迫治療	I
	下肢静脈瘤ストッキング圧迫治療	I
理学療法	非監視下運動療法	I
	監視下運動療法	IV
	大血管術後リハビリテーション	IV
	リンパ浮腫複合的理学療法	IV
薬物治療	抗血小板治療	I
	抗凝固治療	I
	血管拡張剤	I
	血栓溶解剤	I
	抗生物質	I
	脂質代謝改善薬	I
	降圧薬	I
	糖尿病治療	I

血管内治療	バルーン血管形成治療(含stent治療)	II
	カテーテル血栓溶解治療	IV
	血栓吸引治療	IV
	血管塞栓術	III
	下大静脈フィルター挿入術	III
	頸動脈ステント治療(CAS)	IV
	ステントグラフト内挿術	IV
	静脈瘤レーザー焼灼術	IV
外科的治療	透析用シャント作成術	IV
	カテーテル血栓除去術	IV
	筋膜切開術	IV
	バイパス術	IV
	血栓内膜摘除術	IV
	動脈瘤手術	IV
	頸動脈内膜摘除術(CEA)	IV
	静脈瘤ストリッピング	IV
	静脈血栓摘除術	IV
	交感神経遮断術	IV
	下肢切断術	IV
特殊治療	血管新生治療	IV
C. 病態・疾病各論		
大動脈瘤	胸部大動脈瘤	IV
	胸腹部大動脈瘤	IV
	腹部大動脈腸骨動脈瘤	II
	大動脈解離	III
末梢動脈瘤	頸動脈瘤	IV
	上肢動脈瘤	IV
	大腿動脈瘤	IV
	膝窩動脈瘤	IV
	その他の動脈瘤	IV
内臓動脈瘤	腎動脈瘤	IV
	腹部内臓動脈瘤	IV
ASO	大動脈腸骨動脈領域	I
	大腿膝窩動脈領域	I
	下腿動脈領域	I
TAO		IV
腸間膜動脈閉塞	慢性腸間膜動脈閉塞	IV
	急性腸間膜動脈閉塞	IV
	非閉塞性腸間膜虚血症	IV
腎血管性高血圧症		IV
頸動脈狭窄		II

その他の 動脈閉塞性疾患	膝窩動脈捕捉症候群	IV
	膝窩動脈外膜嚢腫	IV
	胸郭出口症候群	IV
その他の動脈疾患	糖尿病性足病変	IV
	透析アクセス用動静脈シャント	IV
	透析患者重症下肢虚血	IV
炎症性動脈疾患	高安動脈炎	IV
	Behcet病	IV
	側頭動脈炎	IV
	膠原病に伴う血管炎	IV
感染性疾患	感染性動脈瘤	IV
特殊な病態	吻合部動脈瘤	IV
	吻合部内膜肥厚	IV
	大動脈腸管瘻	IV
	大動脈気管瘻	IV
急性動脈閉塞	塞栓症	I
	血栓症	I
動脈外傷	頸部	IV
	胸部	IV
	腹部	IV
	四肢	IV
静脈血栓塞栓症	深部静脈血栓症	I
	肺塞栓症	I
	静脈血栓後症候群	IV
	腸間膜静脈血栓症	IV
下肢静脈瘤		I
レイノー病・症候群		IV
リンパ浮腫	上肢	II
	下肢	II
先天性疾患	動静脈形成不全	IV

【経験症例数 指定疾患】

疾患名	必要最低経験数
大動脈瘤	2
ASO	3
急性動脈閉塞	1
静脈血栓塞栓症	2
下肢静脈瘤/レイノー病・症候群/リンパ浮腫/先天性疾患 から	1